

AD-6040

デュアルスケール

取扱説明書



AD
A&D Medical

ご注意

- (1) 本書の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
- (2) 本書の内容については将来予告無しに変更することがあります。
- (3) 本書の内容は万全を期して作成しておりますが、ご不審な点や誤り記載漏れなど、お気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
- (4) 当社では本機の運用を理由とする損失、損失利益の請求については(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、ご了承ください。



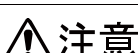
© 2010 株式会社エー・アンド・デイ
株式会社エー・アンド・デイの許可なく複製・改変などを行うことはできません。

本書に記載されている商品名及び社名は日本国内または他の国における各社の商標または登録商標です。




注意事項の表記方法

取扱説明書および製品には、誤った取り扱いによる事故を未然に防ぐため、次の警告サインと図記号で表示しています。警告サインと図記号の意味は次の通りです。

警告サインの意味

 危険	この表記は、無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う差し迫った危険が想定される内容を示します。
 警告	この表記は、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	この表記は、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

図記号の意味

	△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。 図の中に具体的な注意事項（左図の場合は感電注意）が記されています。
	⊘記号はしてはいけないこと（禁止）を示しています。具体的な禁止内容は、 ⊘の中や近くに文書や絵で示します。左図の場合「分解禁止」を示します。
	●記号は必ず守っていただきたいこと（強制）を示しています。具体的な強制内容は、 ●の中や近くに文書や絵で示します。左図の場合「守っていただきたいこと」を示します。

その他



お知らせ	機器を操作するのに役立つ情報です。
-------------	-------------------





この他にも、個別の注意事項がそれぞれのページに記載されていますので併せてご参照ください。

使用上（安全及び危険防止）の注意事項



デュアルスケール（AD-6040）を正しく安全にお使いいただくために、以下の注意事項を熟読された上でお取り扱いください。ここに記載されている内容は、機器の安全な取り扱いの他、測定者および被検者の安全についての一般的な事柄をまとめたものです。機器特有の注意事項については、以降の本文中に記載しておりますので、ご使用前に本取扱説明書をご一読ください。




1. 機器の設置および保管は、次の点に注意してください。

 危険	
	<ul style="list-style-type: none">■ 可燃性の高い麻酔薬あるいは引火性ガスの発生する場所、および高圧酸素室、酸素テント内に本機を持ち込んで使用しないでください。引火爆発の原因になります。




 注意	
	<p>□ 下記の使用環境、保管環境でご使用ください。</p> <ul style="list-style-type: none">■ 水のかからない場所。■ 高温、多湿にならない場所、直射日光の当たらない場所、ほこりの少ない場所、および塩分、イオン分などを含んだ空気にさらされない場所。■ 傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）の無い水平で安定した場所。■ 本機および被検者の重さに耐えうる場所。■ 暖房器具の近く、または空調機の風が直接当たる場所には置かないでください。■ 化学薬品が保管されていたり、ガス等が発生しない場所。■ 設置：温度0℃～+35℃、湿度85%RH以下（結露なきこと）の場所。■ 保管：温度-20℃～+70℃の場所。■ 機器の電源（周波数、電圧、電流）の安定した場所。
	<p>□ 製品の設置・移動時は、下記にご注意ください。</p> <ul style="list-style-type: none">■ 移動時は、移動ハンドルを持って設置・移動してください。■ 移動中に本体のまわりに人や物がないことを確認してください。■ 移動中に本体を壁や物などにぶつけないようにしてください。故障の原因となります。■ 乱暴に取り扱わないでください。故障の原因となります。
	<ul style="list-style-type: none">■ 本機の設置、移動時に手や足をはさまないようにご注意ください。

2. 機器を使用する前に次の点を確認してください。




 注意	
	<ul style="list-style-type: none">■ ACアダプタの電源電圧は交流100Vでご使用ください。 火災や感電の原因になります。

 注意	
	<ul style="list-style-type: none">■ 機器が安全かつ正確に動作すること。■ サイドバーが適切な位置で、サイドバー高さ位置ツマミで確実に固定されていること。■ 他の医療用テレメータとの相互干渉に注意して問題が無いことを確認すること。■ 付属されている専用のACアダプタを使用すること。■ 安全に正しく使用するために使用前点検を必ず行うこと。■ 機器に結露がある場合は、十分に乾燥してから電源を入れること。
	<ul style="list-style-type: none">■ 本機は人間の体重を測定することを目的としています。体重測定以外の目的で使用しないでください。また、人を乗せた状態で移動させないでください。■ 電源コードや他のケーブルの上に重いものを載せたり、本機の下敷きにしなさいこと。 火災・感電の原因になります。■ ACアダプタ本体、プラグ部が破損または、電源コードが破損している場合は使用しないこと。 感電や絶縁劣化により漏電火災の原因になります。■ 当社指定外のオプション品・消耗品は取り付けないこと。



3. 機器の使用中は次の点に注意してください。

 注意	
	<ul style="list-style-type: none">■ 機器全般および被検者に異常のないことを絶えず監視すること。■ 機器全般および被検者に異常が発見された場合には、安全な状態で機器の使用を止める等適切な措置を講ずること。■ 計量台の下に物が入り込んだ状態や、周囲壁などとの接触を避けること。 測定に影響します。■ 測定時は静かに計量台（座面またはストレッチャー）に乗り、測定が終了するまで体を動かさないこと。
	<ul style="list-style-type: none">■ 強磁界および強電界中では使用しないこと。■ 温度変化の激しい場所では使用しないこと。 測定値に誤差を生じる恐れがあります。温度差のある場所に移動するような場合は、移動後十分時間が経過してからご使用ください。■ ボールペンなど尖った物で表示器のスイッチ部を押さないこと。故障の原因になります。■ サイドバーに寄りかかったり、ぶら下がったりしないこと。転倒の恐れがあります。■ 計量台に飛び乗ったり、乱暴に取り扱わないこと。けがや故障の原因になります。




4. 機器の使用後は次の点を確認してください。

 注意	
	<ul style="list-style-type: none">■ 定められた手順により操作スイッチ等を使用前の状態に戻した後、電源を切ること。■ 付属品等は清掃した後、整理し保管すること。■ 機器は次回の使用に支障のないよう必ず清掃しておくこと。
	<ul style="list-style-type: none">■ ケーブル類を取り外す時は、ケーブルを持って引き抜く等無理な力をかけないこと。

5. 機器が異常と思われた時は、次の処置をしてください。

 警告	
	<ul style="list-style-type: none">■ 測定者および被検者の安全を確保すること。■ 機器の動作を止め、ACアダプタをコンセントから抜くこと。■ 機器に「故障」、「使用禁止」等の表示を行い、速やかに当社までご連絡ください。

6. 保守点検については次の点に注意してください。

 注意	
	<ul style="list-style-type: none">■ お手入れの際は、感電防止のため、本機のACアダプタをコンセントから抜いてください。■ しばらく使用しなかった機器を再使用する時は、使用前に必ず機器が正常にかつ安全に動作することを確認すること。■ 安全に正しく使用するため、使用前点検、保守点検は必ず行ってください。機器の使用・保守の管理責任は、設置者（施設、学校、病院・診療所）側にあります。始業前点検や保守点検を怠ると事故の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none">■ 本機の分解、および改造はしないでください。けが、火災、感電の原因となります。

7. 強い電磁波やノイズにより誤動作を起こすことがありますので注意してください。

注意

- 本機は、周囲に強い電磁波やノイズ等が存在すると、誤動作を起こす恐れがあります。機器の使用時、意図せぬ誤動作が発生した場合は、電磁環境の状況を調査し、必要な対策を実施してください。

次に一般的な原因と対策の一例をあげます。

- 携帯電話やマイクロ波治療装置等の近くでの使用
電波によって予期せぬ誤動作をして正確に測定できない恐れがあります。
本機の設置向きを変えてみるか、または下記の対策を実施してください。
 - 医用電気機器の設置してある部屋または建物の中では、携帯電話や小型無線機器等の電源を切るよう指導する。
 - 本機を使用中はマイクロ波治療装置等の使用を控える。
- 電源コンセント等を伝わって、他の機器から高周波雑音が入った場合
 - 雑音源を確認し、その経路を雑音除去装置等により対策する。
 - 雑音源が停止できる機器であれば、その使用を止める。
 - 他の電源コンセントから電源を取る。
- 静電気の影響があると思われる場合（機器およびその周辺での放電）
 - 装置を使用する前に、測定者、被検者とも十分に放電を行う。
 - 部屋を加湿する。
- 落雷等による影響
近くで雷が発生した時は、過大な電圧が機器に誘導されることがあります。このような場合は、乾電池または充電電池パックを使用する。



8. 環境保護

注意




- 本機を廃棄する時は、各自治体のリサイクルプランに従い処理してください。
- 使用済の乾電池や充電電池パックは、地方自治体の指導に従って処分してください。
可燃性で処分すると、乾電池が爆発して火災が起こり、やけどやけがをする恐れがあります。

安全にお使いいただくために

警告

	<ul style="list-style-type: none">■人や物が乗っている時、上下昇降操作をしないでください。急降下し、ケガや故障の原因となります。ストレッチャー状態（平らな状態）のクッションの上で、飛び跳ねないでください。ケガや故障の原因となります。■ストレッチャー状態、イス状態を問わず、階段、エスカレーターでは使用しないでください。■ストレッチャー状態で、座面の上で立ったり、端に座ったり、一箇所に加重をかけて使用しないでください。転倒しケガや故障の原因となります。
	<ul style="list-style-type: none">■ストレッチャー状態で、人が乗っている場合は落下防止のため、必ずサイドバーを上げてください。■坂道など傾斜のある場所での使用は十分に注意し、傾斜の強い坂道は必ず、後ろ向きで走行させてください。また、傾斜地での駐車は絶対にしないでください。

注意

	<ul style="list-style-type: none">■屋外や、高温多湿な場所でのご使用・保管はおやめください。故障の原因になります。■本機は一人用の設計です。二人以上の使用や、人以外の重い物を絶対載せないでください。■ウェイトトレーニングやリハビリ用具として設計されていません。指定用途以外で使用しないでください。■走行中にキャストのロック操作を行わないでください。キャストロックは、走行中のイスを停止させるための設計になっていません。■踏み台がわりに、デュアルスケールの上に立ったり。足をかけて立ち上がったりしないでください。■倒れたり、壊れたりして、怪我をする恐れがあります。
	<ul style="list-style-type: none">■変換操作時、ストレッチャーの下空間に、人や物が入り込んでいないか十分に確認してください。■移乗の時はベッドと本製品をぴったりとつけてください。隙間を開けると移乗者が落下したり、製品が転倒する可能性があります。■各部に、刃物や角張った物を当てないでください。
	<ul style="list-style-type: none">■リクライニングやレッグレストの角度設定時に、指をはさまないように注意してください。■変換操作時、昇降操作時、移動時は、周囲に十分確認注意し、又、下空間に人や「物が」入り込んでないか十分に確認してください。■移動時に、計量台やキャストに足をはさまないように注意してください。

お知らせ

- 計量台（座イス部またはストレッチャー）の中央部にお乗りください。
- 測定中に体が動かないようサイドバーを持って測定してください。体動は測定誤差の原因になります。
- 体動（揺らぎ）の大きい被検者の場合、正しく測定できない場合があります。

開梱

⚠注意



■ 本機は、精密機器ですので丁寧に扱ってください。強い衝撃を与えると故障の原因となります。

お知らせ

■ 本機は、輸送中の損傷を防ぐため特別に設計された梱包箱に入れて出荷されていますが、開梱時には製品が損傷していないかご確認ください。万が一損傷している場合は販売店にご連絡ください。なお、将来本機を輸送する場合は梱包材を保管しておいてください。

梱包を開けた際に、以下のものが入っていることをご確認ください。

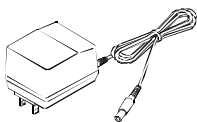
- 本体（デュアルスケール本体） 1セット
 - ・ 計量台/サイドバー（x2個） 1式
 - ・ 表示器 1台

- 付属品
 - 取扱説明書(本書/保証書付) 1冊
 - 専用ACアダプタ 1個
 - ACアダプタ識別シール 1枚
 - (UN105-7508 : 7.5V 0.8A)

デュアルスケール本体



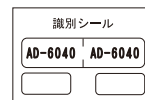
ACアダプタ



取扱説明書(保証書付)



ACアダプタ識別シール



梱包から本製品を取り出しましたら、次の事を必ずご確認ください。

確認事項：

1. デュアルスケール本体およびキャスタ等外観に変形、破損等の異常はないですか？
2. キャスタロック用フットペダルを踏んで、ロック動作に異常はないですか？
3. ストレッチャーといすの状態がスムーズに行え、動作に異常はないですか？
4. レッグレストの位置調整、角度調整が確実に行えますか？
5. サイドバーの高さ調整設定に異常はないですか？
6. 昇降がスムーズに行え、異音などの異常はないですか？
7. サイドバーのガタつき、固定異常はないですか？
8. 背・座・フットレストのクッションにガタつきはないですか？
9. キャスターのガタつき、固定異常はないですか？

万が一損傷している場合は販売店にご連絡ください。尚、万一異常が発見された場合、速やかに使用を中止し他の方が使用しませんよう、本体に故障中の表示を行い、弊社または販売店へご連絡ください。

目次

目次	1
1. はじめに	3
2. 特長	3
2.1. 概要	3
2.2. 使用の制限	3
3. 仕様	4
3.1. 本体仕様	4
3.2. 計量仕様	4
3.3. 外形寸法	5
4. 各部の名称と機能	6
4.1. 各部の名称	6
4.2. 表示器の名称	7
5. ご使用の準備	8
5.1. 設置	8
5.2. 電源の準備	8
5.2.1. ACアダプタを使用する場合	8
5.2.2. 乾電池を使用する場合	9
5.2.3. 充電電池パックを使用する場合（オプション品）	9
5.3. 始業前点検	10
5.3.1. 電源投入前	10
5.3.2. 電源投入後	10
6. 操作方法	11
6.1. キャスタロック（トータルロック）の使い方	11
6.2. 高さ調整の仕方	12
6.3. ストレッチャー・イス状態変換の仕方	13
6.4. レッグレストの角度調整の仕方	14
6.5. サイドバーの使い方	15
6.6. 測定の仕方	16
6.7. 各機能の説明	17
6.8. 操作・測定上の注意	17
6.9. ベッドからの移乗方法	18
6.10. 内部設定	19
6.10.1. 設定方法	19
6.10.2. 内部設定一覧	20
7. 保守	21
7.1. 点検	21
7.2. お手入れ	21
7.3. 清掃	21
7.4. 廃棄	21
7.5. 定期点検	22
7.5.1. 電源投入前	22
7.5.2. 電源投入後	22
8. 修理を依頼される前に	23
8.1. エラー表示	23

9. アクセサリ／オプションリスト	24
10. アフターサービス・保証	24
10.1. 保証期間	24
10.2. 製品に関するご質問・ご相談窓口	24
11. 保証書および修理規定	25

1. はじめに

このたびは、エー・アンド・デイのデュアルスケール（AD-6040）をお買い求めいただき誠にありがとうございます。

この取扱説明書は、AD-6040の操作方法ならびに保守、仕様について記述したものです。

本機をご理解いただき、十分にご活用いただくためにご使用前に本書をよくお読みになり、いつでも見られる所に大切に保管してください。

2. 特長

2.1. 概要

- 本機は、被験者（介護される方）の移動、移乗と計量ができる体位変換型車いすです。
- 被験者（介護される方）を、寝た状態で、あるいは座った状態で安全に計量できます。
- 99.9 kg までは100 gの表示分解能を持ちます。
- さらに、表示を固定するホールド機能、寝具などの重量をゼロキャンセルする風袋引機能等があります。
- 電源はACアダプタあるいは単2乾電池または充電電池パック（専用オプション品）を使う事が出来ます。
- オートパワーオフ機能で電気の消耗を防ぐ事が出来ます。

2.2. 使用の制限

- 最小表示は100 g（99.9 kgまで）と200g（100.0 kg以上）の自動切替になっています。
- 検定付きの体重計の校正は、ユーザーは行えません。定期点検等はお買い求めの販売店にご相談ください。
- ひょう量と最小測定量
取引または証明に使用する「ひょう量」と「最小測定量」は銘板および表示器に記載されています。
「取引」とは、計量法の「有償であること無償であることを問わず、物または役務の給付を目的とする業務上の行為」をいいます。
「証明」とは、計量法の「公にまたは業務上他人に一定の事実が真実である旨を表明すること」をいいます。
- 定期検査
本機を「取引」または「証明」に使用する場合、計量器の器差および性能が一定の基準内に維持されているか、計量法施行令第11条により2年に1回定期検査を受けることが義務付けられています。
当定期検査は、都道府県の指定した施設にて行いますので、詳細は各都道府県の計量検定所、またはお買い求めの販売店にお問い合わせください
- 使用温度範囲
本機は、使用温度範囲内でご使用ください。

3. 仕様

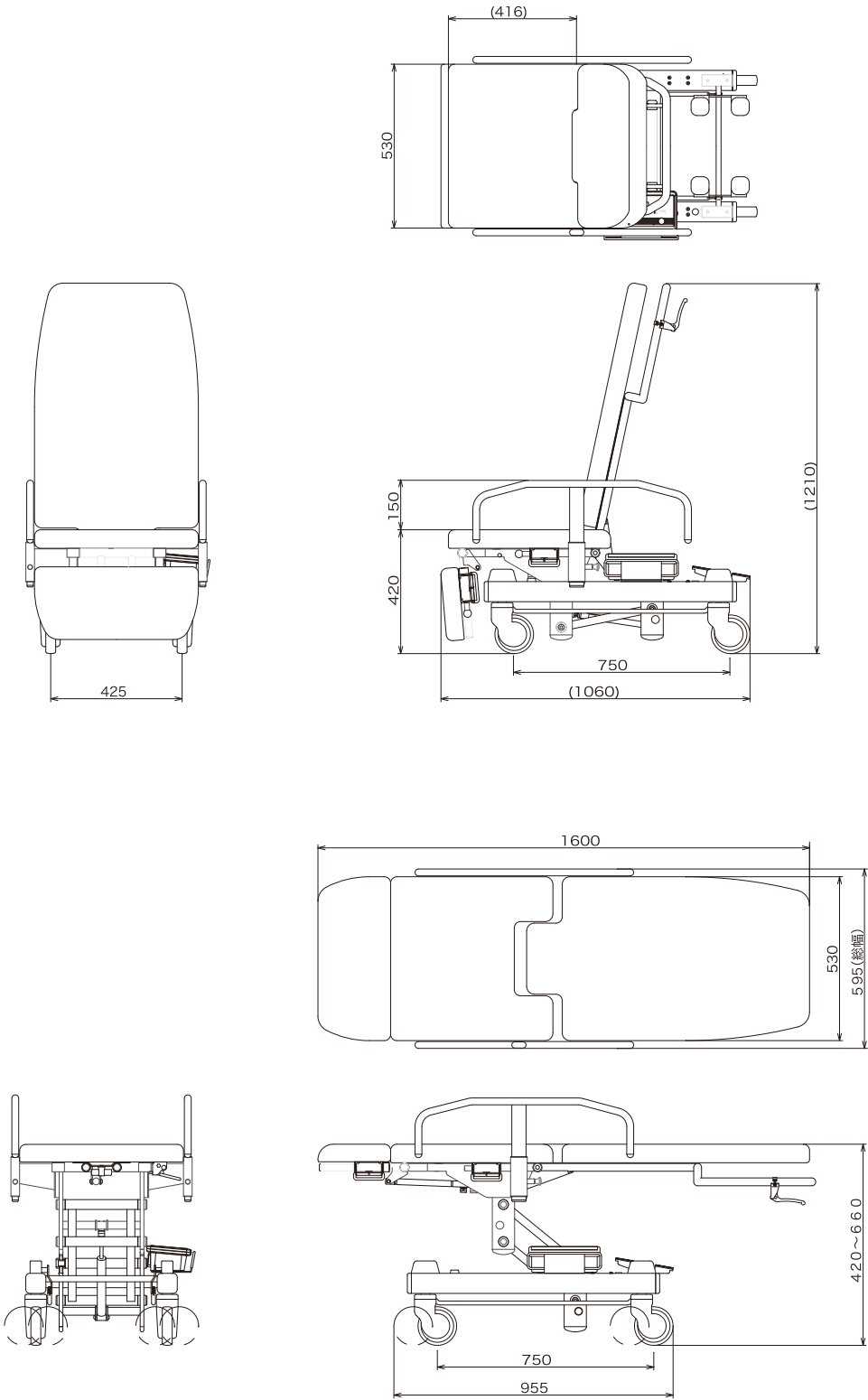
3.1. 本体仕様

型 名		AD-6040
寸 法	全 高	ストレッチャー時：420～660 mm (450mm以下にすると表示器操作面が見えなくなります) イス時：1210 mm
	奥 行 き	ストレッチャー時：1620 mm イス時：1060 mm
	全 幅	530 mm、 595 mm (総幅)
	最 大 負 荷	100 kg (移動時)
	座 幅	530 mm
	座 奥 行 き	416 mm
	背もたれ角度	0°～75°
材 質	キ ャ ス タ	φ120 mm (トータルロックタイプ)
	フ レ ー ム	鋼管フレーム
	表 生 地	塩化ビニール

3.2. 計量仕様

ひょう量	150kg
目量	100g (99.9 kg まで) 200 g (100.0 kg 以上)
最小測定量	1 kg
精度等級	4 級
最大風袋引き量	99.9 kg
表示方法液晶表示	文字高さ 26 mm、7 セグメント
使用温湿度範囲	0°C～+35°C、85%RH 以下 (但し、結露しないこと)
電源	ACアダプタ：AC100V 50-60Hz 電池の場合：単2形乾電池4本または充電電池パック(オプション品)
計量皿寸法	1600 mm
質量	約 58 kg

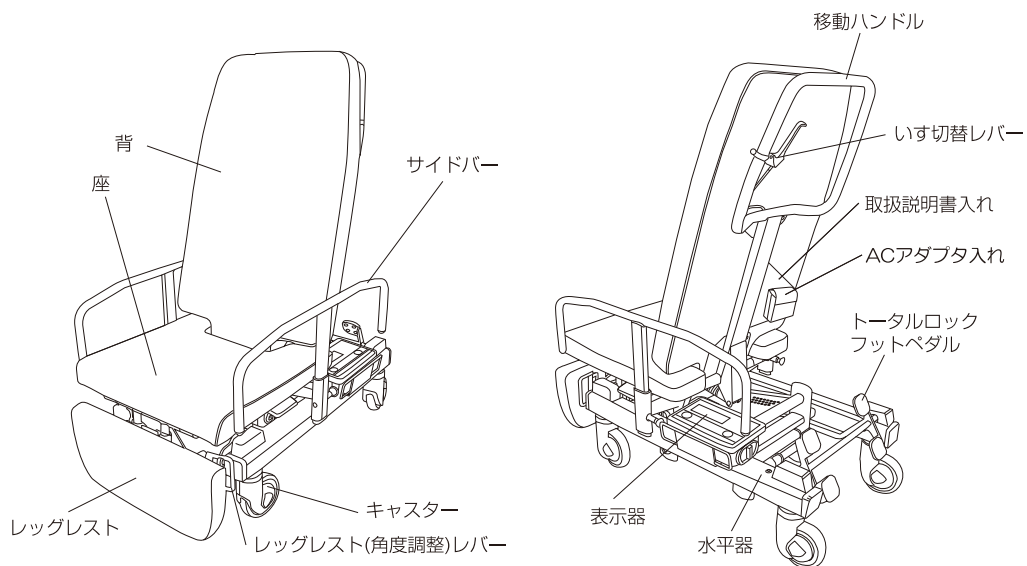
3.3. 外形寸法



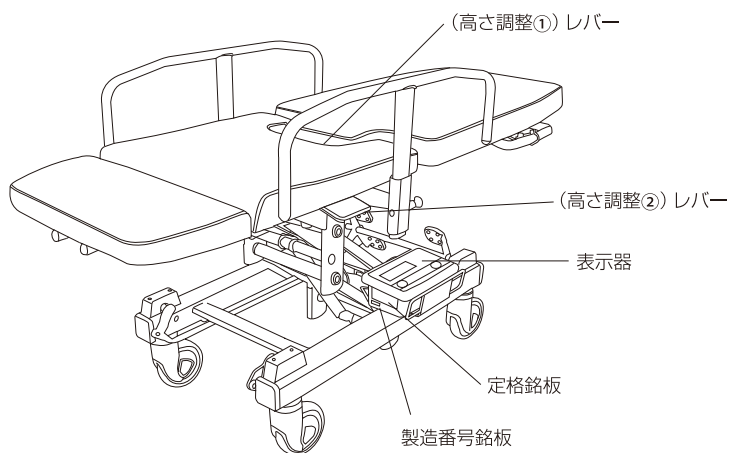
4. 各部の名称と機能

4.1. 各部の名称

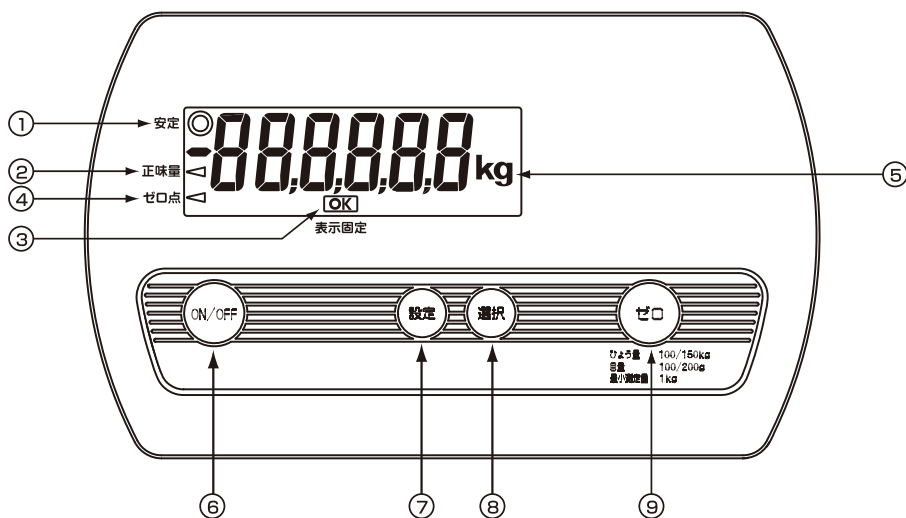
□ イス状態



□ ストレッチャー状態



1.1. 表示器の名称



表示・シンボル

	表示・シンボル	説明
①	安定 ○	計量値が安定しているとき点灯します。
②	正味量 ▲	容器（風袋）の質量が差し引かれているとき点灯します。
③	表示固定 OK	体重値が確定した後、固定表示しているときに点灯します。
④	ゼロ点 ▲	体重値がゼロ（基準点）のときに点灯します。
⑤	kg	計量単位"kg"が点灯します。

操作スイッチ

		説明
⑥		電源をオン／オフします。電源をオンにしたときは、自動的にゼロを表示します。（パワーオンゼロ機能）
⑦		体重計の内部設定を変更する際に使用します。
⑧		体重計の内部設定を変更する際に使用します。
⑨		表示をゼロにすることができます。

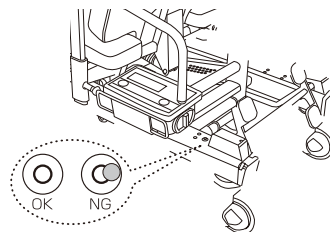
5. ご使用の準備

5.1. 設置

本機の性能を適切に作動、また安全にお使いいただくために巻頭の注意事項を必ずご確認のうえ、適切な場所に設置してください。

設置：

水平器の中央に気泡がくるように、フラットな床に設置してください。
また、計量台に物などが当たらないように注意してください。



5.2. 電源の準備

⚠️ 注意

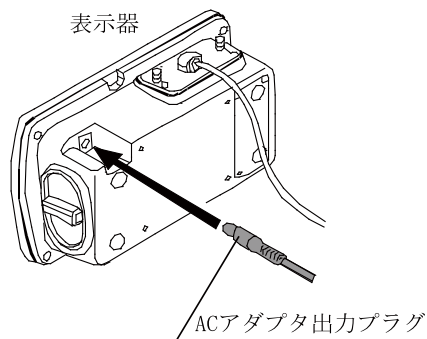


- ACアダプタは、付属の専用ACアダプタをご使用ください。
- 電源コードの被覆等に異常がないか確認してください。被覆に損傷があると、ショートや発熱による発火や感電の恐れがあります。

5.2.1. ACアダプタを使用する場合

手順：

1. 付属品のACアダプタを用意してください。
2. ACアダプタの出力プラグを表示器背面のACアダプタジャックに差し込んでください。



5.2.2. 乾電池を使用する場合

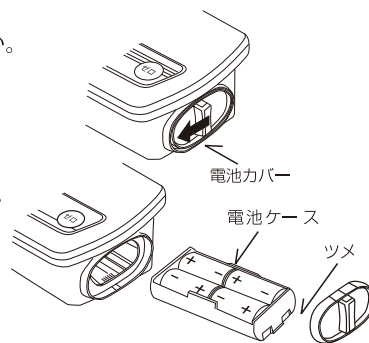
⚠注意

乾電池は、下記の事項に注意して使用してください。

- 乾電池ケースの表示にしたがって、+、-の方向を間違えないように正しくセットしてください。
- 乾電池を交換する場合、4本まとめて行ってください。
- 異なった種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。乾電池が発熱する場合があります。
- 長期間使用しない場合、または専用ACアダプタのみで使用する場合は、乾電池を取り外してください。乾電池を入れたまま長期間放置すると、液漏れの恐れがあります。
- 乾電池液漏れによる故障は、保証期間内であっても有償修理になります。

手順：

1. 新しい単2形乾電池(マンガンまたはアルカリ)を4本用意してください。
2. 電池カバーを右図の矢印方向にずらし外します。
3. 内部に収納されている電池ケースを一度押し込んで、ツメを外し取り出してください。
4. 極性に気をつけて新しい乾電池を電池ケースにセットしてください。
5. 電池ケースを表示内部に戻し、ツメがかかるように押し込んでください。
6. 電池カバーを元のように取り付けてください。



お知らせ

- **LB0** が表示されたら、新しい乾電池と交換してください。

5.2.3. 充電電池パックを使用する場合 (オプション品)

手順：

1. 電池カバーを外してください。(乾電池使用のイラスト参照)
 2. 内部に収納されている電池ケースを取り出します。
 3. 新しい充電電池パックを表示器内部に戻し、ツメがかかるように押し込んでください。充電電池と電池ケースは一体のパックとなっています。
 4. 電池カバーを取外しと逆の手順で元の位置に取り付けてください。
 5. 充電電池パックの充電方法
表示器にACアダプタを接続すれば、そのまま充電されます。充電は約15時間で終了します。
 6. 充電電池パックをお使いのとき、本機は約8時間ご使用になれますが、電池が消耗すると **LB0** の表示がされますので、そのときは再度表示器にACアダプタを接続して充電してください。
- ※ACアダプタを接続している間は、充電電池パックの電池は消耗しません。

⚠注意

- 充電電池は、必ず専用オプション品の充電電池パック(AD6030-01)を使用してください。
- 充電電池パック(AD6030-01)は付属していません。ご注文の際は販売店または弊社にお問い合わせください。

お知らせ

- 充電しても充電電池パックでの動作時間が極端に短くなった場合、充電電池パックの交換が必要です。
- 充電電池パックは、2年に一度交換することをお勧めします。
- 使用期間が2年に満たない場合でも、使用環境により劣化することがあります。

5.3. 始業前点検

⚠注意



- 安全に正しく使用するため始業前点検は必ず行ってください。

一日の最初に使用するとき、以下の始業前点検をおこなってください。

5.3.1. 電源投入前

電源投入前に下記の点検を行い、問題が無いことを確認してご使用ください。

項目	内容
設置状態	■ 本体は、水平で安定した場所に設置されているか（水平器で確認）
外観	■ 落下等による変形や破損はないか ■ 各部に汚れ、サビ、キズ等はないか ■ パネル類に割れやガタつき等はないか ■ スイッチ類に破損やガタつき等はないか ■ 結露や水漏れはしていないか
本体	■ サイドバーは固定され、ガタつき、異常はないか ■ いす切替レバーを握り、移動ハンドルをゆっくり持ち上げて、背もたれを任意の位置に ■ 設定ができるか（「ストレッチャー・イスの状態変換のしかた」を参照ください） ■ レッグレストの角度調整レバーを調整し、任意の角度に調整できるか ■ パネル類に割れやガタつき等はないか ■ スイッチ類に破損やガタつき等はないか ■ 結露や水漏れはしていないか
キャスタ	■ キャスタ部分にガタつき、固定異常はないか ■ キャスタロック用フットペダルを踏んで、キャスタがロックされるか ■ およびキャスタロック用フットペダルを強く踏み4輪ロックし、ペダルの中間位置で ■ 4輪フリー状態になるか（「キャスタロックの使い方」を参照ください）
接続ケーブル	■ ACアダプタの接続ケーブルの上に重いものが乗っていないか ■ 電源ケーブル・プラグ・接続ケーブルは傷んでいないか ■ 本体のコネクタに確実に挿入されているか ■ ACアダプタ使用時、ACアダプタのケーブルが本体に接触していないか ■ ケーブルが本体に接触していると測定値の誤差の原因になります。

5.3.2. 電源投入後

電源投入後に下記の点検を行い、問題がないことを確認してご使用ください。

項目	内容
外観	■ けむりが出たり、変なにおいはないか ■ 異常な音が聞こえないか
体重測定	■ 実測し、測定値および測定動作に異常はないか
スイッチ・ボタン	■ スイッチ、ボタン類の動作に異常はないか
表示	■ 表示に問題は無いか

6. 操作方法

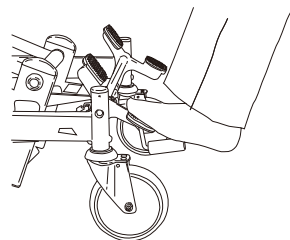
6.1. キャスタロック（トータルロック）の使い方

□ キャスタロックの3つの機能

キャスタロック用フットペダルの踏み込み位置により、3つの機能を設定できます。

<機能1> 4輪ロック機能

キャスタロック用フットペダルを下側一杯に踏み込むとロックします。ストレッチャーからイスへの変形時、ベッドからの移乗時等本体を止めたい時にご使用ください。

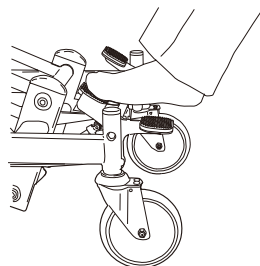


お知らせ

- キャスタロックは、走行中の本体を止める設計になっていません。走行中には、フットペダルを操作しないでください。
- トータルロックフットペダルの操作は、必ず足で行ってください。手で行うと指を挟み込むなどしてケガをする恐れがあります。

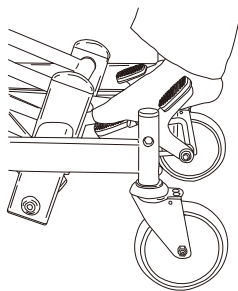
<機能2> 4輪フリー機能

キャスタロック用フットペダルを中間位置にすると、4輪フリー状態になります。ベッドへの横付け、小回りさせたい時にご使用ください。



<機能3> 走行制御機能(直進安定)

ストレッチャー状態、イス状態を問わず、本体を走行させるときの走行安定性を上げる機能です。後輪2個のみに3つの機能があります。フットペダルを奥に踏み込み1mほど後退または、前進させますと、後輪2個の首振りがロックされます。ロックされたことを確認し、走行を行ってください。



お知らせ

- 路面の横方向に傾斜がある場合、必ずご使用ください。4輪フリーの状態の場合、本体を前に押しでも傾斜方向に本体が走行し、真っ直ぐ進めません。走行制御機能(直進安定)は、片方が前向き、もう一方が後ろ向きでもロックしてしまいます。その場合は、一度 <機能2>の4輪フリー機能を使い、フットペダルを自由にしてから、本体を後退または、前進させ、キャスタの向きを揃えてからロックしなおしてください。

6.2. 高さ調整の仕方

ベッドからの移乗の際、ベッドに合わせ高さを調整したり、テーブル・車イス等との高さ関係を調整する事ができます。

警告



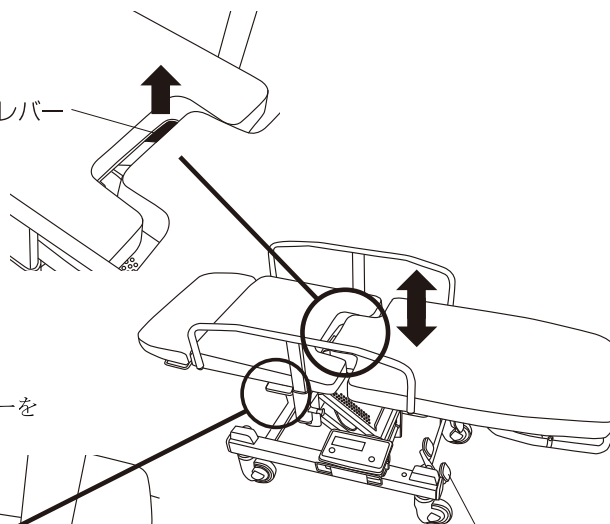
- 人が機器に乗っている時は、高さ調整操作をしないでください。計量台が落下し、ケガや故障の原因になります。
- 表示器に手などを乗せた状態で高さ調整を行わないでください。表示器と計量台の間に手を挟む恐れがあります。

手順：

1. キャスタロック用フットペダルを確実に踏み込み、本機（AD-6040）のキャクタをロックします。

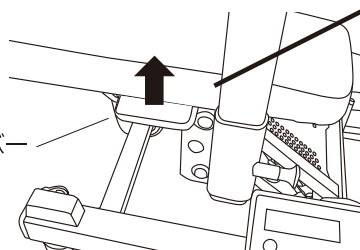
2. 高さ調整①レバーを引き上げてください。

(高さ調整①)レバー



3. 次に、高さ調整①レバーを握ってください。
(高さ調整①レバーを握れば、高さ調整安全レバーを下げても構いません)

(高さ調整②)レバー



トータルロックフットペダル

4. 高さ調整②レバーを握ったまま、クッション面（計量台側）を上下させてください。
5. 固定したい高さで高さ調整②レバーを離してください。高さ調整レバーを離すと上下高さ調整がロックします。
6. クッション面（計量台側）を押してロックされているか確認してください。
※ロックが不完全の場合、計量台が落下してケガや故障の原因になります。

6.3. ストレッチャー・イスの状態変換の仕方

ストレッチャーからイス、イスからストレッチャーに状態を変更することができます。
途中で止めて任意の角度（楽な姿勢）に固定することができます。

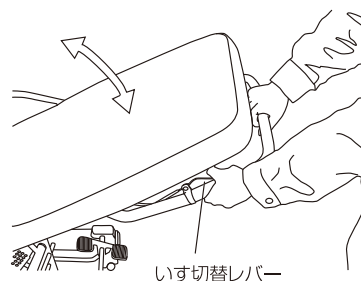
⚠注意



- 操作前に必ずキャスタ(車輪)がロックしていることを確認してください。リクライニング中に動き出し、ケガや思わぬ事故の原因となります。
- すべての操作は、人が乗っていない状態で、近くに人がいないことを確認してから行ってください。
- リクライニング操作は、必ず両手で行ってください。
- レッグレスト位置を必ず通常位置に戻してから操作してください。（6.4、6.5参照）
- 本製品はストレッチャー状態では頭側と足側を逆に乗せても問題ありませんが、頭側と足側を逆に乗せたまま椅子状態に変形させますと、乗っている人が落下する恐れがあります。人が乗っている時に状態変更はしないでください。

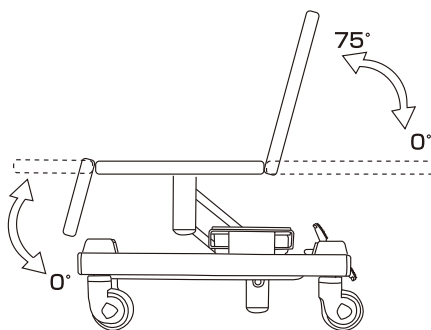
手順：

1. いす切替レバーを握り、ゆっくり上側に持ち上げて（下側に下げて）ください。片方の手は、必ず移動ハンドルを握ってください。



2. 止めたい位置で、リクライニングレバーから手を離します。
※レバーから手を離すとリクライニングがロックされます。

3. 0°(水平状態)から背もたれ角度約75°の間で、任意の角度で止まります。



6.4. レッグレストの角度調整の仕方

イス状態での体重測定で、足を持ち上げたいときに使用します。

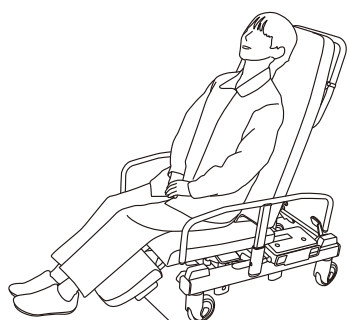
警告



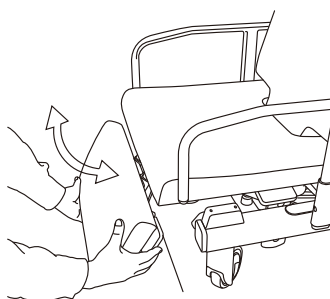
- 角度操作は必ず片手でフットレストを支えた状態で行ってください。レバーのみ操作しますと、急激な角度変化により、被検者に不安を与えたり、思わぬ事故や故障の原因となります。
- 足が床面から離れていることを確認してください。足が床面に付いていると、測定値に誤差が生じます。

手順：

左手でフットレスト側面を持ち、右手でレッグレスト角度調整レバーを握ってゆっくり引き上げ（下げ）てください。無段階の調整ができます。



角度調整レバー



6.5. サイドバーの使い方

サイドバーは、ストレッチャー状態での被検者に対して、安全確保(落下防止柵)の機能と、イス状態での手すりとしての機能があります。

警告



- 被検者の落下防止のため、サイドバー（手すり）は必ずご使用ください。
- 必ずカチッと音がするまで引き上げ、固定されているか確認してください。使用中に落下し、思わぬ事故の原因になります。
- サイドバーの高さ調整操作は必ず両手で行ってください。サイドバー高さ調整ツマミのみ引くとサイドバーが落下し、故障の原因になります。

注意

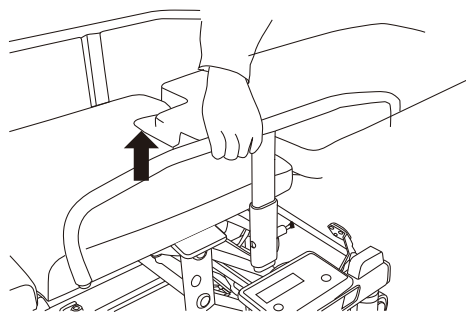


- サイドバーを勢いよく下げないでください。本体に衝撃を与え故障の原因になります。また、思わぬ事故やケガの原因になります。

□ サイドバーを上げる

手順：

1. サイドバーの中心付近を持ち引き上げてください。
2. 所定の位置まで引き上げますとカチッと音がして固定されます。
※サイドバーの高さは3段階に調整ができます。

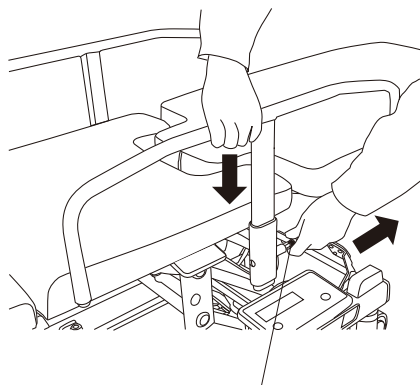


□ サイドバーを下げる

手順：

1. 片手でサイドバーを握ります。
2. もう片方の手で、サイドバー高さ調整ツマミを引いてください。
3. そのままサイドバーを下げてください。

この時は、乗っている物を降ろして電源を入れなおしてください。



サイドバー高さ調整ツマミ

6.7. 測定の仕方

注意



- 測定時の安全のため、必ず本機のキャスタをロック（固定）してください。
- 傾斜地での計量はしないでください。動く危険性があります。また、傾斜地では測定値に誤差が生じる場合があります。
- キャスタは前進状態にして測定してください。誤差が生じる場合があります。
- イス状態で測定する場合、必ず高さを最低位置にしてください。転倒の原因になります。
- 測定を開始する前に以下のことを確認してください。
 - ・本体のキャスタはロックされているか
 - ・単2形乾電池4本（または充電電池パック）か、またはACアダプタが接続されているか
 - ・ACアダプタを使用する場合、ACアダプタのケーブルが本体に触れていないか測定誤差の原因になります。

測定を開始する前に、本機の性能を適切に作動、また安全にお使いいただくために巻頭の注意事項を必ずご確認のうえ、適切な場所に設置してください。および「ご使用の準備」を参照ください。

手順：

1. ON/OFF スイッチを押して電源を入れます。表示チェックが始まります。

※本機に物を載せて電源を入ると、“— — — —”表示になることがあります。
セルフチェック機能のエラーとなります。

2. 表示がゼロになるよう ゼロ スイッチを押してください。

※ ゼロ スイッチは風袋スイッチとしても機能します。

3. 表示がゼロになったら、本機に静かに乗ります。安定マークが表示され、体重が読みとれます。

4. 測定が終了したら、本機から静かに降ります。

5. 電源を切るときは、 ON/OFF スイッチを押してください。

6. 表示が消えます。

6.8. 各機能の説明


体重測定を行う際の表示器の各スイッチの使い方、機能は以下の通りです。

● **ゼロ** スwitchは計量値が安定しているときに働きます。


● ゼロ作動

電源を入れた時に取られたゼロ点（パワーオンゼロ）を基準として、計量値が約±2.9kg以内にあるとき **ゼロ** スwitchを押しますと、その点をゼロ点に設定します。このとき、表示がゼロになります。

● 風袋引き

計量値が約±2.9kgを超えている場合、 **ゼロ** スwitchは計量皿上の重さを容器（風袋）の重さとして差し引きます。表示値はゼロとなり、風袋引中マーク  が点灯します。また、100kgを超えた風袋引はできません。

● 風袋引き動作の停止

容器（風袋）を取り除き **ゼロ** スwitchを押すことにより、風袋引きはクリアされ、風袋引マーク  は消えます。

● 表示固定

4kgを超えて安定マークが点灯した場合、体重計を降りても測定値は表示されたまま固定されます。一度、4kg以下になれば表示固定中でも次の計測ができます。“「6-11-2 内部設定一覧」を参照し、“F10”を設定してください。出荷時は、表示固定の時間は10秒間に設定されています。

● 表示固定の解除

表示固定中に±3kgを超える変動がありますと、設定されている表示時間経過後に表示固定は解除されます。

表示固定中に **ゼロ** スwitchを押すことにより、即座に表示固定は解除されます。計量値が安定状態ならば、ゼロ動作または 風袋引き動作 を行います。安定状態でなければ、固定表示の解除のみ行います。

表示固定が解除された場合、4kgを超えていても再度の表示固定はされません。一度4kg以下にすることにより表示固定が可能となります。

● オートパワーオフ機能

ゼロ表示が約5分続くと自動的に電源の切れるオートパワーオフ機能があります。“「6-11-2. 内部設定一覧」を参照し、“F1-1”または“F-1-2”と設定してください。出荷時は、乾電池または充電パック使用時のみオートパワーオフ機能が働くようになっています。

6.9. 操作・測定上の注意

● 鉛筆のような先の尖った物でスイッチを押さないでください。

● 衝撃的な荷量やひょう量を超えた荷量を加えないでください。

● 体重計内部に異物が入らないようにしてください。

● 計量値が安定しない場合、“— — — —”が表示されます。何か計量皿に何か触れていないか、強い風や振動がないかなど確認してください。原因がわかりましたらそれを取り除いてください。

● パワーオンゼロの働く範囲は、校正時のゼロ点を中心に、±15kg以内です。この範囲を超えるようなものを計量皿に乗せたまま電源を入れた場合も、“— — — —”が表示されます。乗せたものを降ろしてください。

● 風袋引き動作の場合、実際に計量するものと合わせてひょう量（150kg）以内でお使いください。

6.10. ベッドからの移乗方法

⚠注意



- 測定時の安全のため、必ず本機の**キャスタ**をトータルロック（4輪固定）してご使用ください。およびベッド側が動くようであればベッドの**キャスタ**をロックしてください。移乗時に本機またはベッドが移動してケガの原因になります。
- 本機への移乗時は、落下防止のためベッドの載せ側と反対側の本機のサイドバーを立てて使用してください。
- 移乗の際、被検者が落下しないように十分に注意を払ってください。

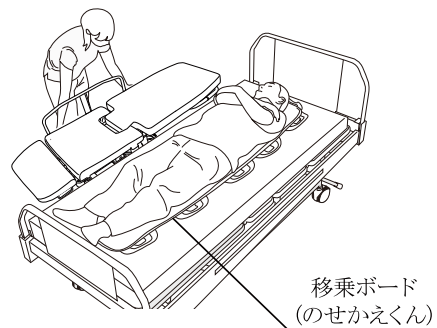
（専用オプション品の移乗ボード「のせかえくん」 AD6040-01 を使用しての移乗の場合）

手順：

1. 被検者を横臥にして、移乗ボード“のせかえくん”をしきこみます。

※体重測定の場合は、先に“のせかえくん”の重量を風袋引きしておきます。

2. 体重計をベッドに横付けし、本機またはベッドのどちらかで高さ調整し、移乗時に本機が移動しないように本機のキャスタをトータルロック（4輪固定）してください。

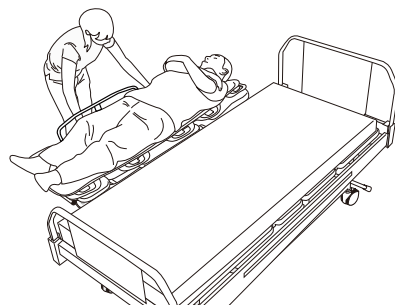


3. 移乗ボード“のせかえくん”の取っ手を2箇所持ちます。



4. 取っ手を引き寄せ、本機の中心の位置に移乗させてください。

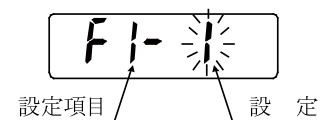
本機（AD-6040）からベッドへの移乗の場合は、手順3. 4をベッド側から行なってください。



5. 本機で体重を測定します。
※体重測定の場合は、ベッドと本機が接触しないように注意してください。

6.11. 内部設定

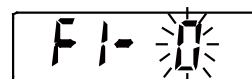
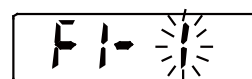
内部設定は、体重計の動作方法を指定する項目を閲覧したり、設定したりする機能です。各項目の内部設定の値は、電源を切っても記憶されています。



6.11.1. 設定方法

1. 電源をオフにします。
2. **ゼロ** スイッチを押しながら **ON/OFF** スイッチを押して、電源をオンにすると、最初の設定項目が表示されます。
3. 左の **設定** スイッチを使って設定値を変更します。
※設置値を変更する必要がなければ何もせずに次に進みます。
4. 右の **選択** スイッチを押すと、次の設定項目の表示となります。
※この段階では、新しい設定値が記憶されていません。
※設定変更を中止する場合は、電源を切ってください。
5. 最後の設定項目までステップ3と4を繰り返します。
6. 最後の項目を設定し、右の **選択** スイッチを押すと、**End** 表示になります。
7. もう一度、右の **選択** スイッチを押してください。各設定値が内部に記憶され、体重計は自動的に再スタート（電源オン）します。

※本ステップ7を行わないと、設定値は変更されません



6.11.2. 内部設定一覧

設定項目	設定値	内容・用途
オートパワーオフ機能	F1-0	オートパワーオフ機能停止
	◆F1-1	乾電池、充電電池パック使用時のみ オートパワーオフ機能が働く
	F1-2	全ての電源でオートパワーオフ機能が働く
	F4	本機では未使用です
	F5	本機では未使用です
	F8	本機では未使用です
表示固定	F10-0	表示固定はしません
	F10-1	5秒間
	◆F10-2	10秒間
	F10-3	15秒間
	F10-4	20秒間
	F10-5	25秒間
	F10-6	30秒間

◆は、出荷時設定です。

7. 保 守

7.1. 点 検

この商品はより高い安全性とより長い耐久性を迫及して作られています。ご使用になる場所や条件、または長時間のご使用などによって変化することが考えられます。定期的な点検を必ず行ってください。

7.2. お手入れ

水分の付着や湿気は、さびや異音の原因になりますので避けると共に付着した場合には直ちにふき取るようにしてください。

7.3. 清 掃

掃除は、水で薄めた中性洗剤にひたした布をよく絞って使用し、乾いた布でふき取ってください。

注意

- 変色・変質の原因となりますので、揮発性のもの（シンナー、ベンジン）などで絶対に拭かないでください。
- 機器に水をかけたり、水につけての清掃は絶対行なわないでください。
- 本機の殺菌に際してオートクレーブ、ガス滅菌（EOG、ホルムアルデヒドガス、高濃度オゾンなど）を使用しないでください。
- 清掃を行なう際は、必ずACアダプタのケーブルをコンセントから抜いて行なってください。

本機の清掃は病院の定めた方針や手順をもとに、1ヶ月に1回程度、以下のように行なってください。

- 機器の外装の汚れは、柔らかい布で乾拭きしてください。
- 血液、薬剤、汚物などが付着した時は、水に薄めた中性洗剤を少し含ませた布で清掃し、除去してください。

7.4. 廃 棄

本機の廃棄及びリサイクルについては、環境保護のため地方自治体の指導に従って処理してください

項 目	構成品	原材料
パッケージ	箱	段ボール
	緩衝材	段ボール
	袋	ビニール
本 体	表示器筐体	ABS樹脂
	内部部品	一般部品
	シャーシ	鉄

7.5. 定期点検

装置を正しくお使い頂くために、定期点検を実施してください。定期点検の主な内容は以下の通りです。

7.5.1. 電源投入前

電源投入前に下記点検を行い問題が無いことを確認してください。

項目	内容
外 観	<ul style="list-style-type: none">■ 落下等による変形、破損がないこと■ 各部の汚れ、サビ、キズがないこと■ パネル類の割れやガタつきがないこと■ 結露、水濡れしていないこと
操作部	<ul style="list-style-type: none">■ スイッチ、ボタン類の破損、ガタつきがないこと
表示部	<ul style="list-style-type: none">■ 画面の汚れ、キズ、ガタつきがないこと
測定部	<ul style="list-style-type: none">■ 計量台の破損、ガタつき等異常がないこと■ サイドバーのガタつき、破損がないこと
可動部	<ul style="list-style-type: none">■ キャスタロック用フットペダルのガタつき、固定異常がないこと■ リクライニングレバーでの任意角度設定、ガタつき、破損等異常がないこと■ レッグレストの位置調整、角度設定、ガタつき、破損等異常がないこと
キャスタ部	<ul style="list-style-type: none">■ キャスタの破損、変形、ガタつきがないこと
電源部	<ul style="list-style-type: none">■ ACアダプタ、ACアダプタジャック部が破損していないこと■ ACアダプタが本体のコネクタにしっかりと挿入されていること■ 電池パック (オプション品) 使用の場合、充電されていること
接続ケーブル	<ul style="list-style-type: none">■ 電源ケーブルや接続ケーブルの上に重いもの、椅子、本体等がのっていないこと

7.5.2. 電源投入後

電源投入後に下記点検を行い問題が無いことを確認してください。

項目	内容
外 観	<ul style="list-style-type: none">■ けむりが出たり、変なにおいがないこと■ 異常な音がしないこと
操作部	<ul style="list-style-type: none">■ スイッチ、ボタン類の動作を確認し異常がないこと
表示部	<ul style="list-style-type: none">■ 表示装置の、マーク、数字等の表示欠けがないこと
測定部	<ul style="list-style-type: none">■ 実測し、測定動作を確認し異常がないこと

- 機器に異常がある場合は、点検にお出してください。
- 点検は、最寄りの弊社営業所にお申し付けください。

8. 修理を依頼される前に

修理を依頼される前に以下の項目をもう一度チェックしてください。

症 状	チェック	処 置	参照項目
移動できない	キャストロックが されている	キャストロックを解除する	6.1項
まっすぐ進まない	キャスト操作 ペダルの位置	キャスト<機能3>を使う	6.1項
昇降できない	昇降範囲の上限または 下限まできている	操作方法を確認してください	6.2項
中間位置でも昇降できない		ご使用を中止し、お買い求めの 代理店にご連絡ください。	6.2項
状態変換ができない	ワイヤーケーブルレバー	お買い求めの代理店に お問い合わせください。	6.3項
サイドバーが上下できない	サイドバー高さ調整 ツマミでロックされている。	サイドバーを持ちながら、 高さ調整ツマミを引いてください。	6.6項

8.1. エラー表示

荷重超過エラー




計量値はひょう量を超えたときに出るエラーです。計量皿の上のものを
取り除いてください。

レンジ超過エラー



重量センサが上方向に強い力を受けたときに出るエラーです。計量皿が何かに引っかかって
いないか、ベース部に異物が入り込んでいないかなど確認してください。重量センサ、あるいは
内部回路が故障している可能性もあります。

また風袋として載せていた衣類などを除いたとき等、計量値が大きくマイナスになるときでも
と表示されます。その場合は改めて電源スイッチを押してください。

ローバッテリー



乾電池または充電電池パックが消耗し電圧が下がったときに表示されます。
新しい乾電池または充電電池パックと交換してください。

電源電圧不足



ACアダプタ使用時、電源の電圧が低すぎるときに表示されます。周囲の配線状況など
確認してください。

メモリ書き込みエラー



内部設定変更などでメモリへの書き込みを行ったとき、正常に記憶できなかったときに表示
されます。一度電源を切り、もう一度同じことを試してください。それでも表示されるときには、
メモリ関係の故障が考えられます。

上記のエラーが解消できないときは、販売店へご連絡ください。

9. アクセサリ／オプションリスト

品名	品目コード
ACアダプタ	UN105-7508
充電電池パック (AD-6031兼用)	AD6031-01
移乗ボード (のせかえくん)	AD6040-01

10. アフターサービス・保証

この商品には、取扱説明書の巻末に保証書がついています。保証書は、販売店にて所定事項を記入してお渡します。内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

10.1. 保証期間

保証期間は、お買い上げの日から1年間です。保証期間中の修理など、アフターサービスについてお問い合わせがございましたら、お買い上げの販売店または株式会社エー・アンド・デイまでご連絡ください。なお、修理の際は以下のことを、お伝えください。

1. お名前、お電話番号、ご住所
2. 商品名、お買い上げ日 (保証書をご覧ください)
3. 故障内容・異常の状態 (できるだけ詳しくお願いします)

保証期間後の修理についてはお買い上げの販売店もしくは株式会社エー・アンド・デイにお問い合わせください。修理により、正常に使用できる製品については、ご要望により有料で修理させていただきます。

10.2. 製品に関するご質問・ご相談窓口

裏表紙にある相談窓口にお申し付けください。

11. 保証書および修理規定

保証書

品名	デュアルスケール	型名	AD 6040
お客様様	お名前：		
	ご住所： 〒		
保証期間	お買い上げ日： 年 月 日	1年間(保証の規定による)	
製造番号： (座面裏に捺印してあります)			
取扱販売店名：			
ご住所：	〒		
電話番号：			

- 本書は、本書記載内容で無料修理させていただくことをお約束するものです。
- 保証期間中に故障が発生した場合は、製品と本書をご持参ご提示のうえ、お買上げの販売店にご依頼ください。お買上げ年月日、販売店名など記入もれがありますと無効になります。必ずご確認いただき、記入のない場合はお買上げの販売店にお申し出ください。
- 本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

AND 株式会社 **イー・アンド・デイ**

無償修理規定

この製品の品質保証期間は、ご購入より12ヶ月です。

保証期間中でも、下記の記載内容については、当社での責任を負いかねますのでご了承ください。

- 取扱説明書に記載されている安全上の注意や操作方法を守らなかった結果による故障・損傷
- 適切な保守点検を怠った使用による故障・破損
- 製品改造あるいは、不当な修理をされた結果に基づく故障・損傷
- 転倒、操作上のミスなど使用者の責任とみなされる場合
- 火災、地震、水害、落雷など天災による故障・損傷
- 本体以外の付属品、消耗品

★保証期間経過後の修理につきましては弊社または販売店へご連絡ください。

★商品の仕様、外観、価格は予告なしに変更することがあります

本書は日本国内にのみ有効です。

